

ハツ場ダム建設事業の検証に係る検討

報告書 (原案) 案

平成 23 年 11 月

国土交通省関東地方整備局

【注】

本報告書（原案）案は、ハツ場ダム建設事業の検証に係る検討にあたり、検討主体である関東地方整備局が「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って検討している内容を示したものであり、後に国土交通本省に報告する「対応方針（案）」を作成する前の段階における関東地方整備局としての（原案）案に相当するものです。

国土交通本省は、関東地方整備局から「対応方針（案）」とその決定期限等の報告を受けた後、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の意見を聴き、対応方針を決定することになります。

ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（原案）案

目次

1. 検討経緯	P. 1-1
1.1 検証に係る検討手順	P. 1-3
1.1.1 治水（洪水調節）	P. 1-3
1.1.2 新規利水	P. 1-4
1.1.3 流水の正常な機能の維持	P. 1-5
1.1.4 総合的な評価	P. 1-5
1.1.5 費用対効果分析	P. 1-5
1.2 情報公開、意見聴取等の進め方	P. 1-6
1.2.1 関係地方公共団体からなる検討の場	P. 1-6
1.2.2 パブリックコメント	P. 1-8
1.2.3 意見聴取	P. 1-8
1.2.4 事業評価	P. 1-8
1.2.5 情報公開	P. 1-8
2. 流域及び河川の概要について	P. 2-1
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況	P. 2-1
2.1.1 流域の概要	P. 2-1
2.1.2 地形	P. 2-3
2.1.3 地質	P. 2-4
2.1.4 気候	P. 2-5
2.1.5 流況	P. 2-6
2.1.6 土地利用	P. 2-12
2.1.7 人口と産業	P. 2-13
2.1.8 自然環境	P. 2-15
2.1.9 河川利用	P. 2-16
2.2 治水と利水の歴史	P. 2-17
2.2.1 治水事業の沿革	P. 2-17
2.2.2 過去の主な洪水	P. 2-20
2.2.3 利水事業の沿革	P. 2-27
2.2.4 過去の主な渇水	P. 2-29
2.2.5 河川環境の沿革	P. 2-33
2.3 利根川の現状と課題	P. 2-35
2.3.1 治水上の課題	P. 2-35
2.3.2 利水の現状と課題	P. 2-38
2.3.3 河川環境の整備と保全に関する現状と課題	P. 2-40
2.4 現行の治水計画	P. 2-47
2.4.1 利根川水系河川整備基本方針の概要	P. 2-47
2.5 現行の利水計画	P. 2-50
2.5.1 水資源開発基本計画の概要	P. 2-50
2.5.2 利根川水系河川整備基本方針の概要	P. 2-50

3.	検証対象ダムの概要	P. 3-1
3.1	ハッ場ダムの目的等	P. 3-1
3.1.1	ハッ場ダムの目的	P. 3-1
3.1.2	名称及び位置	P. 3-2
3.1.3	規模及び型式	P. 3-2
3.1.4	貯留量	P. 3-3
3.1.5	取水量	P. 3-3
3.1.6	建設に要する費用	P. 3-3
3.1.7	工期	P. 3-3
3.2	ハッ場ダム建設事業の経緯	P. 3-4
3.2.1	予備調査着手	P. 3-4
3.2.2	実施計画調査着手	P. 3-4
3.2.3	建設事業着手	P. 3-4
3.2.4	水源地域整備計画等	P. 3-4
3.2.5	基本計画告示	P. 3-5
3.2.6	用地補償基準	P. 3-7
3.2.7	各建設工事の着手	P. 3-7
3.2.8	環境に関する手続き	P. 3-7
3.2.9	これまでの環境保全への取り組み	P. 3-8
3.3	ハッ場ダム建設事業の現在の進捗状況	P. 3-10
3.3.1	予算執行状況	P. 3-10
3.3.2	用地取得	P. 3-10
3.3.3	家屋移転	P. 3-10
3.3.4	代替地移転	P. 3-10
3.3.5	付替鉄道整備	P. 3-10
3.3.6	付替国県道整備	P. 3-11
3.3.7	ダム本体関連工事	P. 3-11
4.	ハッ場ダム検証に係る検討の内容	P. 4-1
4.1	検証対象ダム事業等の点検	P. 4-1
4.1.1	総事業費及び工期	P. 4-1
4.1.2	堆砂計画	P. 4-7
4.1.3	過去の洪水実績など計画の前提となっているデータ等についての点検の結果	P. 4-8
4.2	洪水調節の観点からの検討	P. 4-9
4.2.1	ハッ場ダム検証における河川整備計画相当の目標流量について	P. 4-10
4.2.2	複数の治水対策案（ハッ場ダムを含む案）について	P. 4-13
4.2.2.1	適正な上下流・本支川バランスの確保の観点から	P. 4-15
4.2.2.2	既存ストックの有効利用の観点から	P. 4-17
4.2.2.3	主な継続事業の所要の効果発現	P. 4-18
4.2.2.4	河道目標流量について	P. 4-20
4.2.2.5	洪水調節施設による洪水調節効果について	P. 4-21
4.2.3	複数の治水対策案の立案（ハッ場ダムを含まない案）	P. 4-24

4.2.3.1	治水対策案立案の基本的な考え方について	P. 4-24
4.2.3.2	複数の治水対策案の立案について	P. 4-49
4.2.4	概略評価	P. 4-71
4.2.5	評価軸ごとの評価	P. 4-72
4.3	新規利水の観点からの検討	P. 4-80
4.3.1	ダム事業参画継続の意思・必要な開発量の確認	P. 4-80
4.3.2	水需要の点検・確認	P. 4-80
4.3.3	複数の利水対策案の立案	P. 4-124
4.3.3.1	利水対策案立案の基本的な考え方	P. 4-124
4.3.3.2	概略検討による複数の利水対策案の抽出	P. 4-157
4.3.3.3	利水参画者等への意見聴取結果	P. 4-163
4.3.3.4	各評価軸による評価方法と検討結果	P. 4-179
4.4	流水の正常な機能の維持の観点からの検討	P. 4-185
4.4.1	建設に関する目標流量の点検	P. 4-185
4.4.2	目標流量の点検結果	P. 4-186
4.4.3	複数の流水の正常な機能の維持の対策案の検討	P. 4-194
4.4.4	概略検討による対策案の抽出	P. 4-209
4.4.5	各評価軸による評価方法と検討結果	P. 4-213
4.5	目的別の総合評価	P. 4-218
4.5.1	目的別の総合評価（洪水調節）	P. 4-218
4.5.2	目的別の総合評価（新規利水）	P. 4-222
4.5.3	目的別の総合評価（流水の正常な機能の維持）	P. 4-226
4.6	検証対象ダムの総合的な評価	P. 4-231
4.6.1	検証対象ダムの総合的な評価の結果	P. 4-231
5.	費用対効果の検討	P. 5-1
5.1	洪水調節に関する便益の検討	P. 5-1
5.2	流水の正常な機能の維持に関する便益の検討	P. 5-4
5.3	ハッ場ダムの費用対効果分析	P. 5-6
6.	関係者の意見等	P. 6-1
6.1	関係地方公共団体からなる検討の場	P. 6-1
6.2	パブリックコメント	P. 6-9
6.3	意見聴取	P. 6-10
6.3.1	学識経験を有する者からの意見聴取	P. 6-10
6.3.2	関係住民からの意見聴取	P. 6-13
6.3.3	関係地方公共団体の長からの意見聴取	P. 6-13
6.3.4	関係利水者からの意見聴取	P. 6-13
7.	対応方針（案）	P. 7-1